

大学院の教育研究上の目的

酪農学園大学大学院（以下「大学院」という。）は、酪農学並びに獣医学に関する学術の理論及び 応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

1 酪農学研究科は、酪農学園創立の基本精神に基づいて、酪農学とその関連科学領域に関する精深かつ不断の研究を進め、その成果を広く社会に還元することで人類の福祉と自然環境の保全並びに産業と文化の進展に貢献することを目的とする。

(1) 酪農学専攻修士課程は、多様化・高度化する酪農学とその関連科学の教育と研究を通して生命・自然を尊ぶ豊かな人間性をはぐくみ、酪農のかかえる総合的、循環的・エネルギー給源的諸問題に対応し得る高等教育研究を展開し、国際的視野にたつて次世代の酪農学の教育と研究を担う人材を養成する。

(2) フードシステム専攻修士課程は、現代社会において強く要請される食資源・食料の生産・加工から流通に至る安全安心確保と、消費者ニーズの的確な評価・判断に関する高度かつ広範な学識を有し、豊かな消費社会の実現のためグローバル経済から地域まで視野に入れて行動できる高い目的意識と強固な使命感を持った指導的役割を担える人材を養成する。

(3) 食生産利用科学専攻博士課程は、自然環境の保全に配慮しつつ安全・安心な食料を質・量ともに確保する具体的な方策と学理について、学問分野を横断的かつ先進的に研究することにより、社会の多様な方面で、高度な専門性を全体の調和のなかで柔軟に活かして活躍する研究者・指導者を養成する。

(4) 食品栄養科学専攻修士課程は「食」と「人の健康」をつなぐ各分野での深い学識と幅広い経験を体得し、国際的視野に立ち、高い目的意識と強い使命感を持った指導的役割を担える人材を養成する。同専攻博士課程は、それぞれの専門分野における教育・研究を通じて、酪農学園大学ならではの利点を生かし、農業・食品・人の健康という複数の領域の横断的な思考により、環境にも配慮した、人の健康 向上に貢献する高度な知識と技術を備えた研究者・指導者を養成する。

2 獣医学研究科は、酪農学園創立の基本精神に基づいて、獣医学とその関連科学を創造的に研究・発展させ、その成果を人類の福祉及び動物・人・環境の調和と共存に寄与させることを目的とする。

(1) 獣医学専攻博士課程は、多様化・高度化する獣医学とその関連科学の教育と研究を通して生命・自然を尊ぶ豊かな人間性をはぐくみ、人類と動物の福祉及び動物・人・環境の調和と共存に貢献し、国際的視野にたつて次世代の獣医学の教育と研究を担う人材を養成する。

(2) 獣医保健看護学専攻修士課程は、臨床とその基盤となる諸科学の教育を通して、創造的かつ実践的な動物看護師となりうる人材並びに幅広く深い教養と専門知識・技術及び総合的な判断力を涵養し、健全で人間性豊かな生命観と社会的使命感を持った人材を養成する。